

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	48	◎レクリエーションや脳トレ、リハビリなど、ADLの向上や認知症進行予防に繋がる活動が単発的で継続出来ていない。	◎前年度の目標をステップアップし計画的に実施していく。	◎レクリエーション一覧表を参考にして計画的に実施する。 ◎実施後、個別に評価する。	1年
2	1	◎認知症状(中核症状、周辺症状)の対応に奔走し、その方のペースに添った自立支援が出来ていない。	◎いかなる利用者に対しても「受容と傾聴」を念頭に置き、介護の専門職として平常心で支援する。	◎各々の出来る事、出来ない事を職員間で共通認識し、自立のに向けた可能性を引き出し、統一した関わりをもつ。	1年
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。